|  |
| --- |
| 根上中学校３年　道徳だより輝 ― かがやく ―　　　　令和３年１２月２３日（木）　ＮＯ．２　 |

『 好いとっちゃん、博多 』

　祭りのまちといわれる博多。博多三大祭りの一つである

法生会(ほうじょうや)の期間中、老若男女がにぎやかに宴を

楽しむ「幕出し」が行われる。人と人との出会いを生み、つな

がりを深める場であった「幕出し」も、昭和初期には途絶えて

しまう・・・。この伝統的な風習を地域の人々と協力して復活

させたのが、グラフィックデザイナーの西島伊三雄さんである。

　グラフィックデザイナーとしての自身の仕事を生かしながら、

郷土の発展に尽くした西島さんの業績に触れながら、土の文化や

伝統を尊重し、そのたすきをつなぐために自分に何ができるかに

ついて考えを深めました。（右上は、西島さんが考えた、福岡市地下鉄のシンボルマークです。）

～ みなさんの学び ～

◇コロナ禍の中、お祭りなどができなかったりしたけど、みんなが町の文化や自然にふれることのできる行事などをこれからもずっと続けていくことが大切です。私ができることは、町のことや市のことについて知っていくことだと思います。

◇自分の町の獅子舞を受け継いで行きたいと思う。受け継ぐためには、積極的に参加して続けることが大切だと思ったので、これからも参加していきたいと思う。福岡市の博多や他の町、市などには、続けてきた伝統がたくさんあるとわかった。伝統を大切にしていきたいと思った。

◇自分の町のみこしが続いていくといいなと思います。そのために、なるべく地域全体で行事に参加し、この行事を知らないという人を減らすことが大切だと思います。

◇大きな行動はできないかもしれないけれど、ボランティアに参加したり、後世に伝えていくことはできると思うので、そういったことをしていきたいなと思いました。

◇僕は、故郷が好きというよりも、大切にしたいという気持ちが強いです。僕は、ゴミを拾ったりするなどして、故郷と思い出を守っていきたいです。プリントで授業をして、一人一人意見が異なっていて、みんなの意見を聞くのが楽しかったです。

◇私は石川県能美市、根上が好きです。都会が嫌いというわけでなく、都会に行ってみたいという気持ちもあります。でも、私はこの能美市の温かさが大好きです。１５歳の私にできることは、とにかく人に感謝することかなと思います。将来やりたいことはあるけど、今の自分には感謝することと、資源や地域を大切にすることしかできないのかなと思います。でも、大人になったら、何らかのかたちで恩返ししたいです。

◇「石けんのように わが身を溶かして 周りの人に 尽くせたら。」という言葉が、私も好きだなと思った。私は初め、自分の故郷を好きじゃないと答えたけど、地元のためにできることはたくさんあるなと感じた。今はまだ石川に残るかはわからないけど、自分より若い世代の人に石川の良いところを伝えたり、これからしていこうと思いました。

◇私も、自分の地域の伝統的文化をつなげられる一人になれるようにしたいです。“故郷を一人ひとりが大切に思い、感謝する心をもつ”

◇僕は今日の授業で、人の関心がなくなってしまうと、長く続いて伝統のあるものでも、消えてしまうと分かりました。長い間地域の祭りや慣習を続けるには、そこに住む一人一人がそれらについて考えて、つむいでくことが大切だと思いました。

◇他の地域の人に能美市の伝統文化を伝えて、有名なものにすれば他県からも人が来て、文化が続いていくだろうと思った。伝統文化をつなげていきたいと考える人が多くいるので、その気持ちを理解してつなげることを考えてみたいです。

◇コロナ禍で、根上の文化に入る七夕祭りなどがなくて、祭りのことを忘れていたけど、そんなことを許さないくらい文化を愛していて、毎日、文化の継承などを考えている人たちの存在に気づき、申し訳ないなと思いました。いつか自分がそのような立場になったとき、少し不安だけど、文化を無くさないように誰かのためになれたらいいなと思いました。

◇自分たちの町や地域にも祭りやみこしなどのたくさんの年中行事があり、毎年参加しているのが当たり前になっているけど、伝統をつないできてくれた人たちがいてこその祭りやみこしなので、地域の伝統や文化を大切にしていきたいと思いました。

◇西島さんがつなごうとした「たすき」とは、故郷への愛や伝統なんだとわかりました。自分も故郷を好きになれるようになりたいと思いました。そして、故郷の伝統を守っていきたいと思いました。

～ ３学期の“道徳”では ～

　２学期も道徳の授業を通して、自分自身と見つめ直したり、家族や友達、先生、地域の方々などの周りの人との関わりについて考えたりすることができましたね。３学期の道徳の授業では、さらに視野を広げて考えを深めたり、自分の日常生活や今後の人生に関連付けて考えたりしてみましょう。みなさんがよりよい人生を送るためのヒントと出会えることを願っています。